

8月30日（木）・31日（金）



第4, 5トレンチでは、遺構と思われる箇所の発掘に入りました。遺構を埋めている土の一部を掘って、遺構の時期や性格を把握します。

◀第5トレンチの北部では、道跡と思われる浅い掘り込みと、粘質土がブロック状に混じった土が堆積する深い掘り込みが、重なって検出されました。



◀第4トレンチの北部でも、基盤の粘土層を掘り込んだ遺構が確認されました。現時点では縄文時代晩期の土器小片などが数点出土しています。

▼第4トレンチ南部で検出された貝層。

8月28, 29日の写真では貝層を横断して、貝が見られない部分があり、時期の違う貝層が土の層を挟んで堆積しているものと考えていましたが、土の部分は、貝層の上部に掘り込まれた浅い溝状の掘り込みであることがわかりました。

